



藤田康右理事長

物取引へ参加する一般大衆の増加で、委託者から預かった委託証拠金が増大、その保全のために昭和43年1月に受託業務保証金制度が導入された。ところが、その流動部分の商品取引所への預託率引き上げで商品取引員の負担が増えたため、その一定部分を共同補償で肩

会員には、基金弁済契約の双方を
分離保管弁済契約の双方を
基金と締結している1号会員が
員と分離保管弁済契約の双方を
を締結している2号会員が
ある。当初、会員は1・9・5社
を数えたが、商品取引員数の
減少に歩調を合わせて会員
数が減少。現在は1号が84社
2号が5社となつていて、

この間、商品取引員の倒産などで弁済したのは10社、弁済額は32億7,100万円となっている。

会員数は84社

(社)商品取引受託債務補償基金協会は既に28年の歴史を持つ。弁済資金に当たる特別会計残高は約200億円に達するが、アイコムの倒産で、新たな対応を迫られつつある。その概要を紹介しよう。

代わりしようどいうのか設立の目的だつた。

弁済額は32億円強

弁済額は32億円強

特別会計残高は約200億円 弁済担保金引き上げへ

**特別会計残高は約200億円
弁済担保金引き上げへ**

日商協

主眼はコンプライアンス

平成15年度の研修事業計画

日商協（日本商品先物取引協会）はこのほど、研修委員会（委員長・清水清カネツ商事会長）で平成15年度の各種研修事業計画を決めた。今年度に続き、コンプライアンス（法令遵守）を主眼に研修内容の充実を図ることになった。

70・9%と、近年にない低度化したことはないという。土途採用者が対象となる11年度は55・9%という記録的な低さで、事務局でもその原因を測りかねている。15年度も受験者は5,000人を超すとみられる。

（2）登録更新講習

7月に、受託等業務の適正にかかる識見の高揚を目指し、東京と大阪で開く。今年度は久保利英明、住田裕子両弁護士が講師をつとめコンプライアンスの重要性を説いた。

④管理担当継続責任者研修

今年度初めて導入された研修で、市川直介弁護士による「コンプライアンス体制の構築と実施」をテーマに半日研修を行つたが、来年度も

① 平成14年度「外務員登録資格試験」の内訳								
	5月度	6月度	7月度	9月度	11月度	2月度	3月度	平均
合格率	73.8%	65.8%	78.5%	72.0%	55.9%	72.0%	%	70.9%
合格者	2,295	698	248	296	255	368		合 4,160
受験者	3,111	1,060	316	411	456	511	/	計 5,865

弁 済 基 金 等 の 推 移				
年 月	基会弁済契約 会員数(社)	弁済基金(累積 限度額)(億円)	特別会計 残高(百万円)	
昭和51年3月末	195	40	803	
52年 タ	190	40	2,727	
53年 タ	191	40	3,665	
54年 タ	187	40	4,339	
55年 タ	178	50	4,687	
56年 タ	170	50	4,957	
57年 タ	162	50	5,718	
58年 タ	154	50	5,525	
59年 タ	147	50	6,013	
60年 タ	143	50	6,676	
61年 タ	139	50	7,368	
62年 タ	137	50	7,500	
63年 タ	130	60	8,135	
平成元年 タ	127	60	8,838	
2年 タ	126	60	8,997	
3年 タ	121	60	9,125	
4年 タ	117	60	10,006	
5年 タ	117	60	11,078	
6年 タ	114	60	11,072	
7年 タ	110	60	12,033	
8年 タ	106	60	12,637	
9年 タ	104	60	13,782	
10年 タ	103	60	14,853	
11年 タ	100	60	15,643	
12年 タ	96	60	16,953	
13年 タ	91	60	18,031	
14年 タ	88	60	19,085	
14年10月末	84	60	19,567	

(注) 1. 平成9年3月末以降の特別会計残高は、弁済担保金を含んだ残高である。
2. 平成11年10月より基金弁済契約会員(1号会員)の他に、2号会員及び
他の会員が登録された。

そのあと、対局者の2名と、大盤解説の小林千春⁵段、聞き手の大沢奈留美⁶段、記録係の甲田明子⁷3段秒読みの巻幡多栄子⁸2段の計6名が1名当たり4人を相手に指導碁を行つた。

午後1時の対局開始までに約270名が訪れ、ほぼ満席になつた。勝負は19手までと早目に終了。白番の青木女流名人が中押し勝ちした。

レディース早暮対戦

青木女流名人の勝ち

国5地区で60回開催する。今
年度の参加者は約2,400
名で、1回当たり平均40名。